

# ちあぱい♪ 布キット



チアーマン × 手作りおっぱい部  
©チアーマン×手作りおっぱい部



## 必要な物(ご準備ください)

- ・中綿(化繊・ポリエステル)
- ・縫い針(またはミシン)
- ・縫い糸
- ・まち針
- ・チャコや鉛筆
- 色落ちするサインペンはNG
- ・ハサミ
- ・定規かメジャー

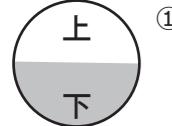
## 入っているもの

- 表用の布1枚(右表の直径+縫い代1cm)
- 裏用の布1枚( " )
- ふた(表布と同じ模様の布)
- 作り方(この紙です。)
- 布は綿100%です。(ラメ部分は除く)

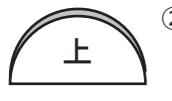
こちらは全摘バージョンの基本形です。

## 表布に印をつける。

裏布は何もしません。



- ①表布の上下を決めます。  
特に上下のある動物系  
イラストはご注意ください。



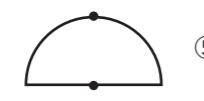
- ②表を内側にして、  
上下に半分に折ります。



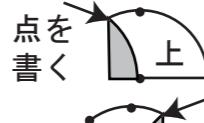
- ③さらに半分に折り、  
上側になる布の上の折り  
目に点を書きます。  
下側の布に書かないよう  
注意しましょう。



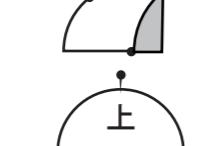
- ④中心点に、点を  
書きます。



- ⑤1回分の折りを戻します。



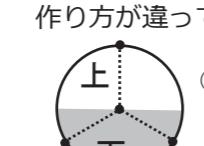
- ⑥端から中心点に向かって折り、  
下になる布に点を書きます。  
この時、上になる布に点は書きません。  
反対側も同様に点を書きます。



- ⑦全て開きます。  
そうすると、上に1つ、下に2つ、  
点が書かれています。



- ⑧まち針から、中心点に向かって線を書きます。  
※大事な模様が線にかかる場合は、  
線を書かずに次に進みましょう。

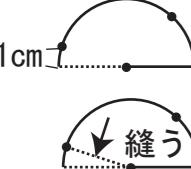


この後の説明は全摘バージョンです。温存バージョンとは  
作り方が違っているので、ご注意ください。

## 表布の準備

裏布は何もしません。

- ①表布を中表になるようにして  
線に合わせて折ります。



- ②線から1cm離れたところに点を書きます。



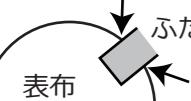
- ③点から中心まで縫います。  
自信がない方は、線を引いて縫いましょう。



- 3か所とも縫っておきます。



- ①表布の表側にふたを乗せます。  
ふたの両端に点を書きます。



- ②表布の点の位置から  
内側に1cm、裏側に折り、  
縫い留めます。



- ③裏布を置き、その上にふたを置きます。  
裏布に表裏がある場合は表を上にします。  
④表布を表側を下にして重ね、  
縫い留めた場所とふたを合わせます。  
※表布と裏布は中表で重なっています。  
※表布は裏布より小さくなっています。  
裏布から表布がはみ出さなければOK

## 模様が線にかかる方の場合

- ①線に合わせて折ります。  
②線から1cm離れたところ  
に点を書きます。  
③中心点の3/1～半分のあたりに  
②の点から線を引き、縫います。  
中心まで縫わないことで、模様を残します。



- 表布のふたの部分はもう縫ってあるので、  
ふたのある位置の表布は縫いません。  
代わりにふたと裏布だけを縫います。  
⑥裏布のはみ出しが多いところを、  
表布に合わせて切りそろえます。  
※表布を切る時は、準備の縫い線と、ふたの  
縫い留めを切らないでください。

- ⑦ふたからひっくり返し、綿を詰めれば出来上がり。  
手編みバージョンよりも丸い三角形になりますが、  
裏布の伸びし具合等で、四角くなる場合もあります。

# ちあぱい♪ 布キット



チアーマン × 手作りおっぱい部  
©チアーマン×手作りおっぱい部



2018.8.18

## 必要な物(ご準備ください)

- ・中綿(化繊・ポリエステル)
- ・縫い針(またはミシン)
- ・縫い糸
- ・まち針
- ・チャコや鉛筆
- 色落ちするサインペンはNG
- ・ハサミ
- ・定規かメジャー

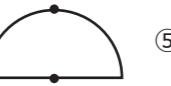
## 入っているもの

- 表用の布1枚(右表の直径+縫い代1cm)
- 裏用の布1枚( " )
- ふた(使いません。表布と同じ模様の布)
- 作り方(この紙です。)
- 布は綿100%です。(ラメ部分は除く)

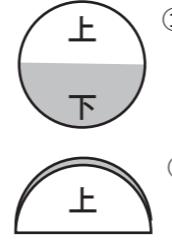
出来上がり サイズ	表布の 直径/縫い幅	カップ キャミ	前開き ブラ
9cm	11cm/1cm	S	S
10cm	12cm/1cm	S	S
AA(11cm)	14cm/1cm	M	S
A(12.5cm)	16cm/1cm	L	M

こちらは温存バージョンの基本形です。

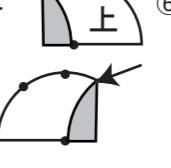
## 表布に印をつける。



- ⑤1回分の折りを戻します。



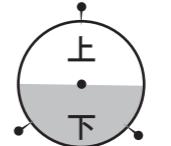
- ①表布の上下を決めます。  
特に上下のある動物系  
イラストはご注意ください。



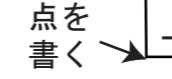
- ⑥端から中心点に向かって折り、  
下になる布に点を書きます。  
この時、上になる布に点は書きません。  
反対側も同様に点を書きます。



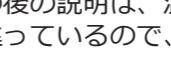
- ②表を内側にして、  
上下に半分に折ります。



- ③さらに半分に折り、  
上側になる布の上の折り  
目に点を書きます。  
下側の布に書かないよう  
注意しましょう。



- ④中心点に、点を  
書きます。



- ⑦全て開きます。  
そうすると、上に1つ、下に2つ、  
点が書かれています。



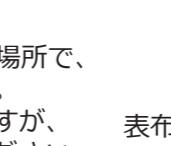
- この後の説明は、温存バージョンです。全摘バージョンとは作り方  
が違っているので、ご注意ください。



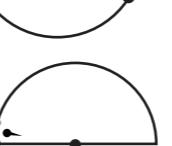
- ⑧裏布も同様に点を書いておきます。



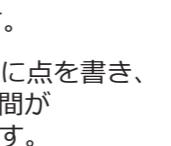
- ①綿入れ口を作ります。  
口の位置は手術跡に近い位置で、  
2点の間がベストです。



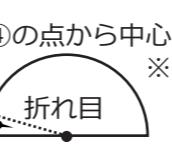
- ②口にしたい場所を、内側1cmの場所で、  
裏に向けて折り、縫い留めます。  
表布、裏布ともに縫っておきますが、  
点や口がそろうようにご注意ください。



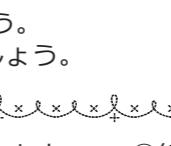
- ③表側が中になるように、  
布を半分に点の位置で折ります。



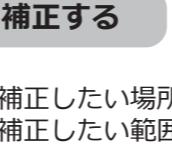
- ④点の位置から1cm離れたところに点を書き、  
書き込んだ点から中心点までの間が  
ずれないようにまち針を打ちます。



- ⑤④の点から中心点に向けて折り、折れ目をつけます。  
※この後の作業がうまくいかない時は、  
この折り目にアイロンをかけましょう。  
2枚とも同じように折れ目をつけましょう。



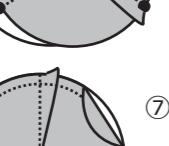
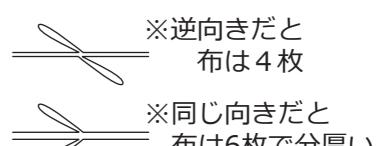
- ⑥ひっくり返したら、胸に当ててみます。  
③綿の少し外側を並み縫いで縫って出来上がり。



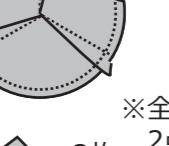
- ④余力のある方は、表布と裏布がずれないよう、  
綿を入れていない場所を縫っておきます。  
例え野球のボール風や、  
色糸でハートやリボンを  
入れてもかわいいです。



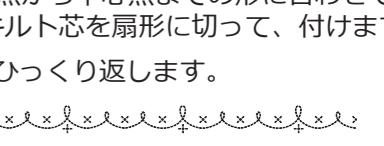
- ⑥布を中表にして、折れ目の位置を合わせます。  
折れ目を逆向きにして、まち針を打ちます。



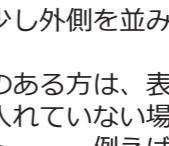
- ※逆向きだと  
布は4枚  
※同じ向きだと  
布は6枚で分厚い



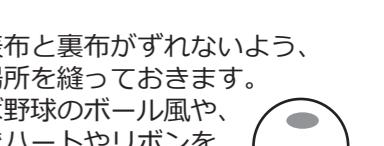
- ⑦布の端から内側1cmを  
口の端から縫い始め、反対側の  
端で縫い終わります。



- ※全体的に綿を詰めたい場合は、  
2点から中心点までの形に合わせて  
キルト芯を扇形に切って、付けます。



- ⑧口の部分から、ひっくり返します。



- ③綿の少し外側を並み縫いで縫って出来上がり。

